

視覚の実験室
モホイ=ナジ/イン・モーション

2011年4月16日[土] - 7月10日[日]

神奈川県立近代美術館 葉山
The Museum of Modern Art, Hayama

休館日: 月曜日[ただし5月2日は開館]

開館時間: 午前9時30分 - 午後5時[入館は4時30分まで]

観覧料: 一般1,100[1,000]円/20歳未満・学生950[850]円/65歳以上550円/高校生100円

[]内は20名以上の団体料金です。中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料です。

主催: 神奈川県立近代美術館

後援: ハンガリー共和国大使館/日本建築学会/日本デザイン学会

協賛: SHI/EIDO/郵便事業株式会社/ミサワホーム

協力: モホイ=ナジ財団/日本貨物航空株式会社

助成: 公益財団法人 野村財団

企画協力: 株式会社アールアンテル

MOHOLY-NAGY IN MOTION

MOHOLY-NAGY IN MOTION



The Museum of
Modern Art,
Kamakura &
Hayama
神奈川県立近代美術館



1



2



3



4



5



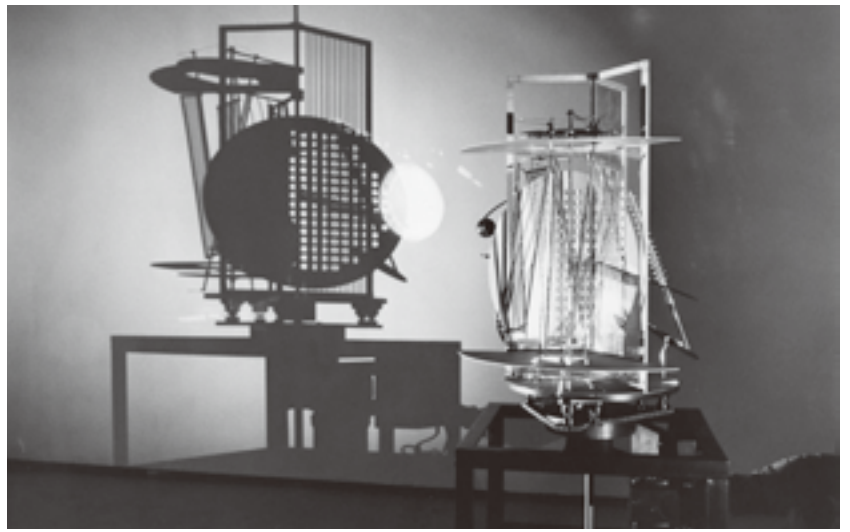
6



7



8



9

MOHOLY-NAGY IN MOTION

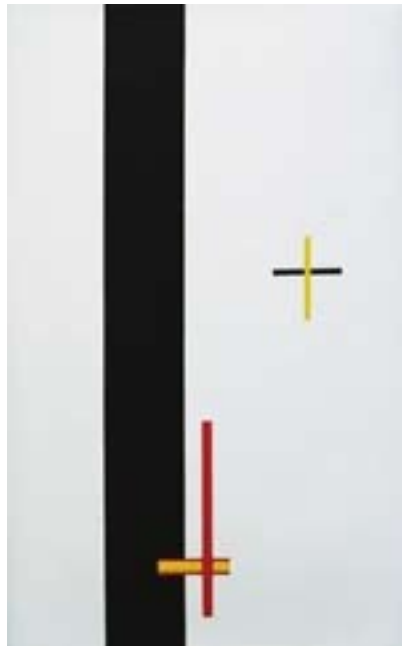
20世紀美術に「新しい視覚(ニュー・ヴィジョン)」をもたらしたハンガリー出身の芸術家、モホイ=ナジ・ラースロー(1895-1946)*の全体像を紹介いたします。構成主義の美術家・写真家、バウハウスの教師として知られるモホイ=ナジは、20世紀前半の前衛芸術運動に参加して「光と運動による造形」という創作理念を確立し、ハンガリーからウィーンへ、そしてドイツ、オランダ、イギリスを経てアメリカへと、自らも世界の都市を移動しながら、多様な造形・教育活動を行いました。

絵画、写真、彫刻、映画、グラフィック・デザイン、舞台美術と多岐にわたる活動は、芸術と工業技術の関係性、情報伝達やコミュニケーションの問題といった、20世紀美術が直面した重要な課題を提示しています。伝統やジャンルにこだわらずに同時代の新しい素材や主題に取り組んだモホイ=ナジの仕事は日本でも早くから紹介され、1930年代の新興写真運動をはじめ、瀧口修造との交流を通じて、戦後は「実験工房」の芸術家たちに大きな影響を与えました。

本展は、多数の貴重な未公開作品を含む遺族所蔵のコレクションを中心に、ハンガリー時代の絵画、キネティック彫刻の代表作《ライト・スペース・モデュレータ》、カメラを使わない写真技法「フォトグラム」、アメリカ時代のカラー写真など、国内外の美術館から集められた約300点の作品・資料によってモホイ=ナジの仕事を展望する日本で最初の回顧展です。その多くが国内初公開となります。表現の可能性をいまなお新鮮に、未来に向けて訴えかけるモホイ=ナジの世界を、ぜひご覧下さい。

*作家名について：欧米の主流である「ラースロー(名)・モホリ=ナギ(姓)」という従来の呼称に対し、本展ではモホイ=ナジの出自であるハンガリーの姓名順と発音に従って表記しています。

- 1.《風景》1918年 ハトウラ・モホイ=ナジ・コレクション
 - 2.《無題》(版画集「ケストナーマップ6:構成」より)1923年 富士ゼロックス株式会社
 - 3.ヴァルター・グロピウス著「国際建築(バウハウス叢書1)」(共同編集担当)1925年 神奈川県立近代美術館
 - 4.《フカン(街)》1929年 東京都写真美術館
 - 5.《ラップラント婦人(フィンランド)》1930年 東京都写真美術館
 - 6.《無題》(フォトグラム fgm132)1925/29年 東京都写真美術館
 - 7.《赤のコラージュ》1921年頃 ハトウラ・モホイ=ナジ・コレクション
 - 8.モホイ=ナジ・ラースロー 1926年頃 (画像提供:ハトウラ・モホイ=ナジ)
 - 9.《ライト・スペース・モデュレータ》1922-30/2006年 ハーバード大学附属ブッシュ=ライズンガー美術館
 - 10.《エナメルの構成 2》1923年 ニューヨーク近代美術館 DIGITAL IMAGE ©2011 The Museum of Modern Art/Scala, Florence
- すべて ©Hattula Moholy-Nagy



10

【関連企画】

対談「モホイ=ナジを語る」

講師：アンドレアス・ハグ氏[モホイ=ナジ財団理事長]
聞き手：井口壽乃氏[本展監修者、埼玉大学教授]

4月16日[土]午後1時-2時

会場：神奈川県立近代美術館 葉山 講堂

定員80名[当日先着順] 通訳あり 無料

ゲスト・ギャラリートーク

講師：前田富士男氏[慶應義塾大学名誉教授]

6月26日[日] 午後3時から 無料(観覧券が必要です)

担当学芸員によるギャラリートーク

4月29日[金・祝]、5月5日[木・祝]、6月18日[土]

午後3時から 無料(観覧券が必要です)

その他の関連企画につきましては美術館HPをご覧ください。

【ファミリー・コミュニケーションの日】

毎月第1日曜日(今回は5月1日、6月5日、7月3日)は、18歳未満のお子様連れのご家族は、優待料金(65歳以上を除く)でご観覧いただけます。

【優待のご案内】

有料観覧券(65歳以上券、高校生券を除く)の半券ご提示で、本展会期中に限り、下記の施設に優待料金でご入場いただけます。

神奈川県立近代美術館 鎌倉(電話:0467-22-5000)

葉山しおさい公園(電話:046-876-1140)

山口蓬春記念館(電話:046-875-6094)

【同時開催】

神奈川県立近代美術館 鎌倉

開館60周年 近代の洋画ザ・ベスト・コレクション[前期]

4月9日[土]-7月10日[日]

神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

新収蔵作品展/甦った名品を中心に4月9日[土]-6月5日[日]

二見影一版画展 6月18日[土]-10月10日[月・祝]

【交通案内】

公共交通機関利用の場合:JR横須賀線「逗子」駅前(3番のりば)または京浜急行「新逗子」駅前(南口2番のりば)から京浜急行バス「海岸回り(逗11、12系統)」で「三ヶ丘・神奈川県立近代美術館前」下車(所要時間18分) 横浜横須賀道路利用の場合:逗子インターチェンジから逗葉新道経由(7.6km)または横須賀インターチェンジから県道27号横須賀葉山線経由(7.2km)

【葉山館駐車場のご案内】

営業時間:午前8時30分-午後6時(入庫は午後4時30分まで)

料金(1時間)普通車400(7月平日600/7月土日1,000)円

大型バス1,200(7月1,800)円

・観覧券をお持ちの方は1時間(7月は1時間30分)無料となります。

・レストランやショップで2,000円以上ご利用頂いた方は1時間無料となります。

貸切バス等(定員11名以上)でご来館の場合、駐車場の事前予約および前面道路の通行許可申請が15日前までに必要です。団体名、連絡先、来館日時、台数をご連絡ください。

Tel.046-875-2800



神奈川県立近代美術館 葉山

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1

Tel.046-875-2800

The Museum of Modern Art, Hayama

2208-1 Isshiki, Hayama, 240-0111 Kanagawa

<http://www.moma.pref.kanagawa.jp>



The Museum of Modern Art, Kamakura & Hayama
神奈川県立近代美術館